

居住環境の向上の考え方

- 居住環境が向上するとは、新たにセーフティネット住宅に転居することで、居住面積が広がる又は家賃負担率が低くなることを言います。
- セーフティネット住宅に転居した場合に、どの区分(要支援世帯・支援世帯)に該当するかを再度判定し、居住環境が向上*することが必要です。

※居住環境向上の例

転居前	転居後
要支援世帯(1)(2)の場合	支援世帯(A)になる
要支援世帯(3)(4)の場合	支援世帯(B)になる
支援世帯(A)(B)の場合	支援世帯(A)(B)を維持する

<区分判定チェックリスト>

		転居前	転居後
入居世帯	世帯年収 ① ※P.18「A」を記入	円	円
	政令月収 ② ※P.18 算出結果を記入	円	円
住宅	住戸面積 ③ ※賃貸借契約書等から	m ²	m ²
	家賃・入居者負担額 ④	家賃 円 ※転居前(現在)の家賃	家賃 入居者負担額※ 円 ※家賃補助付きセーフティネット専用住宅の場合は、25,26ページの一覧表から入居者負担額を記入
政令月収区分の判定 ※②の所得から		<input type="checkbox"/> 0 ≤ ② ≤ 104,000 区分Ⅰ	<input type="checkbox"/> 0 ≤ ② ≤ 104,000 区分Ⅰ
		<input type="checkbox"/> 104,001 ≤ ② ≤ 123,000 区分Ⅱ	<input type="checkbox"/> 104,001 ≤ ② ≤ 123,000 区分Ⅱ
		<input type="checkbox"/> 123,001 ≤ ② ≤ 139,000 区分Ⅲ	<input type="checkbox"/> 123,001 ≤ ② ≤ 139,000 区分Ⅲ
		<input type="checkbox"/> 139,001 ≤ ② ≤ 158,000 区分Ⅳ	<input type="checkbox"/> 139,001 ≤ ② ≤ 158,000 区分Ⅳ
最低居住面積 ※P.21 結果を記入 (③と⑤の比較)		最低居住面積 ⑤ m ² ※P.20「A」を記入	最低居住面積 ⑤ m ² ※P.20「A」を記入
		<input type="checkbox"/> 最低居住面積未滿	<input type="checkbox"/> 最低居住面積未滿
		<input type="checkbox"/> 最低居住面積以上	<input type="checkbox"/> 最低居住面積以上
家賃負担率 (④×12÷①) ※P.22 結果を記入 (高家賃負担率 36.7%との比較)		家賃負担率 % ※P.22「C」を記入	家賃負担率 % ※P.22「C」を記入
		<input type="checkbox"/> 高家賃負担率未滿	<input type="checkbox"/> 高家賃負担率未滿
		<input type="checkbox"/> 高家賃負担率以上	<input type="checkbox"/> 高家賃負担率以上
居住環境区分の判定 ※下記の判定表から			

≪区分判定表≫

① 政令月収 ≪123,000 円以下の世帯≫

③ 家賃負担率		② 居住面積	
		未滿	以上
高家賃負担率	未滿	要支援世帯(1)	支援世帯(A)
	以上		要支援世帯(2)

① 政令月収 ≪123,001 円以上 158,000 円以下の世帯≫

③ 家賃負担率		② 居住面積	
		未滿	以上
高家賃負担率	未滿	要支援世帯(3)	支援世帯(B)
	以上		要支援世帯(4)